

## 和歌山県立きのかわ支援学校 学校運営協議会

令和元年度 第2回【7月23日(火)】

出席者：委員7名、傍聴人8名

### 議題

- ①地域との合同避難訓練について
- ②本校卒業後のつけたい力について
- ③地域との合同避難訓練について
  - 1 きのかわ支援学校の取組と子どもたちにつけたい力について
  - 2 きのかわ支援学校で育ててほしい力

### 議論した主な内容

①10月26日(土)地域との合同避難訓練の詳細について教頭より説明を行った。地域の方々が先に体育館へ避難し、その後、本校児童生徒の避難訓練の様子を見学していただくことなどの内容や日程を報告した。また、本会委員の自治会長さんと目的について何度も協議し、今回は初回であり、まずは地域の方々と本校の児童生徒が避難後体育館で顔合わせをする体験から初めて、今後の課題を考えていく、という主旨を伝えた。

②本校卒業後のつけたい力について

まず、学校長より、本校を取り巻く地域の実態と本校の実態、児童生徒の実態などを紹介した。それを踏まえ、卒業後につけたい力についてを学校独自に設定し、教育を実践していく予定であることの説明を行った。

その後企業、保護者、卒業後の支援者、地域の学校、地域住民の視点からきのかわ支援学校で育ててほしい力について意見を出し合った。

### 協議で出された意見等

「きのかわ支援学校で育ててほしい力」では“毎日学校に登校する、健康の維持など日常生活の基本的な力がまず大切である”ことや“コミュニケーション力や「助けて」と言える力”や“自分が役立っている”という自己有用力が必要であるなど、多数の意見をいただいた。

